

時に抗おうとしたわけじゃない
世の中を変えようとしたわけじゃない
ただ自分たちの暮らしを、守りたかった
自らのことは、自ら決めたかった
時は平安の御代
立ち上がった、ひとりの男がいた
地方の時代を切り開こうと
立ち上がった、ひとりの男がいた
坂東の風雲児…
その男の足跡を訪ねてみよう

将常總紀行

じょうそう



こだわりの特産品



受け継がれてきた味と磨き上げた技が、人々から永く愛されています。

■地酒

山中酒造「一人娘」 (42) 2004
野村醸造「絶美人」 (42) 2056
竹村酒造「京の夢」 (23) 1155

■乾麺

土井製麺店 (22) 1012
宝屋製麺 (22) 0372
青柳製麺 (22) 0018

■煎餅

本橋煎餅「塩せんべい」 (22) 2173
桜井煎餅「水海道煎餅」 (22) 0912
天野屋「あとひき煎餅」 (22) 0411
はとみせんべい (22) 0815
のんきや (22) 7946
いおり庵 (23) 5107

■和菓子

浜田製菓「千姫銅鑼」 (22) 1178
■だんご
春子屋 (42) 2232
ゆたかや (42) 2646

■パン・菓子

荒井パン店「あんパン」 (22) 0258
石塚製パン「クレープ」 (22) 1453
村井パン「菓子パン」 (22) 0462

■味噌

荒井味噌「筑波譽」 (22) 0274
石塚糀店「手造りみそ」 (42) 2383
戸須味噌醤油醸造 (42) 2302

■鮮魚/水産品/鳥肉加工品

寺田屋商店 (24) 7811
清水屋 (22) 1218
鳥末食品「筑波巻」 (24) 3021

■お茶

坂入製茶園 (42) 2397
長塚製茶工場 (43) 7638

■農産物直売

みんなの市場 (42) 1902
元気村 (34) 1832
スマートマーケット ほくそう (23) 0888
Natural Space Creation (27) 6117
たまご屋本舗 (27) 6091

※市外局番は[0297] です

口ヶの街 ~ 常総フィルムコミッショ~

撮影隊の誘致に力を注ぐ茨城県にあっても、常総市は県内有数の「口ヶの街」。毎年数十本もの作品が市内で撮影され、映画やTVドラマの撮影隊や、撮影場所を探すスタッフを、街のどこかでいつも見かける。俳優さんに会うのは難しいけれど、「エキストラでもいいから出演したい!!」という方は、常総フィルムコミッショ~までご相談下さい。

【主な映画・TVドラマと撮影場所】

ピンポン～2002年/市民体育館

龍馬の妻とその夫と愛人～2002年/元三大師安楽寺

座頭市～2003年/坂野家住宅

TRICK～2003年/弘経寺

ゼブラン～2004年/水海道小学校

下妻物語～2004年/大崎町個人宅

着信アリ～2004年/青少年の家

東京ゾンビ～2005年/市民福祉センター

ホールドアップダウン～2005年/水海道市役所

おっぱいバレー～2009年/青少年の家

20世紀少年第3章～2009年/市民福祉センター

JIN -仁-～2009年/坂野家住宅

交渉人～2009年/常総市役所

ボックス～2010年/石下体育館

白夜行～2010年/旧水海道プラザ

一枚のハガキ～2010年/大生郷町

仮面ライダー・ダブル～2010年/きぬ総合公園

小川の辺～2010年/坂野家住宅

NHK大河ドラマ「江」～2010年/あすなろの里

大切なことはすべて君が教えてくれた～2011年/阿弥陀寺ほか

新選組血風録～2011年/坂野家住宅

こちら葛飾区亀有公園前派出所 THE MOVIE～2011年/青少年の家

荒川アンダーザブリッジ～2011年/鬼怒川河川敷

はやぶさ～2011年/個人宅

ヒミズ～2011年/小貝川河川敷・宝町商店街ほか

本日は大安なり～2011年/一言主神社ほか



食べる

※市外局番は[0297] です

23 和洋定食 中 福 (42) 2036

24 イタリア料理 パストラーレ (42) 8187

25 ラーメン すずきの (42) 8199

26 和食・寿司 日 本 橋 (42) 2784

27 和 定 食 あぶらや (22) 7438

28 和洋定食 寿 美 吉 (22) 9446

29 和洋定食 三 妻 亭 (22) 7148

30 和定食 いさみ家 (24) 7521

31 海鮮寿司キッキン 吉 良 (22) 7292

32 田舎れすとらん 千 石 (24) 3280

33 喫茶店 かうひいや 珈 和 (23) 2182

34 和食・釜飯 ふか川 (23) 1919

35 和洋定食 お 多 幸 (23) 0707

36 イタリア料理 カフェ・フレスカ (21) 5418

37 ブラジル料理 オ プ シ オ ン (22) 3648

38 うどん・ソバ 喜良久庵 (22) 2373

39 和食・寿司 満 月 (22) 3055

40 海鮮茶屋 末 廣 (27) 0207

41 中華料理 シルクロード (27) 2929

泊まる

※市外局番は[0297] です

【水海道駅周辺】

水海道第一ホテル
MITSUKAIDO DAI-ICHI HOTEL
(23) 2011

ホテルルートイン
HOTEL ROUTE INN
水海道駅前
(30) 0011

ホテル割烹 野村屋
(22) 0165

●扇屋旅館

●割烹旅館 糜屋

0120-59-0026

●ビジネス ホテル 水海道

(23) 0151

●水海道スカイホテル

029(858)0009

●ビジネスホテル Mi ya

(22) 1441

【きぬの里】

●きぬの湯 別荘

(20) 3751

【石下駅周辺】

●石下スカイホテル

029(849)0123

●つくばタウンホテル

(42) 2038

●かま仙旅館

(42) 2037

常総市の案内には…

「ゆっくり… ゆったり…

やすらぎの街 常総」

「常総市の花を見に行こう」

「水海道 街の見どころ案内」

「ロケの街 常総」を紹介する

「ドラマツップ&シネマツップ」を

どうぞ、ご利用ください。



常総市観光物産協会

〒303-8501 茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3 常総市役所商工観光課内
TEL (0297) 23-2111/23-9088【直通】 FAX (0297) 23-1501
<http://www.city.joso.lg.jp> e-mail senhime@city.joso.lg.jp

1 豊田城跡 本豊田／小貝川堤防

前九年の役(1051~1062)に戦功を挙げ、その恩賞として豊田郡を領した豊田氏が本拠として築いた城。戦国時代末期に下妻多賀谷氏との争いに敗れ、その一族の居城となるが、関ヶ原の戦いに敗れたため多賀谷氏は改易、豊田城も廃城となった。城は小貝川の西岸の微高地に築かれていたが、昭和30年頃より実施された河川改修と耕地整備により城跡は消滅している。

2 平将門公菩提供養之碑

新石下／西福寺

將門公とその一族の靈を慰めんと建立された4基の供養碑のひとつ。鎌倉幕府五代執権北条時頼公が供養碑を建てた翌年の建長六年(1254)、所縁の人々により建立された。天保年間、江戸幕府旗本の一人がこの碑を持ち去らんとしたとき、炎を吐いたと言い伝えられており、「炎石」とも呼ばれている。なお、境内の一角にはには將門公の名を冠した「將門まつり」で舞い踊られる“のろばか踊り”的祥を記念した碑も建立されている。

4 豊田四郎供養塔 若宮戸／龍心寺跡(個人宅)

鎌倉幕府五代執権北条時頼公が將門公の供養碑と共に建てたと伝えられるもので、建長五年(1253)の建立という。豊田四郎は將門公を打ち破った平貞盛の玄孫にあたり、前九年の役(1051~1062)に戦功を挙げ豊田郡を領し、豊田城を築いた。名は平政基(または政幹)、「豊田四郎ト称シ、又石毛荒四郎ト称ス」と『新編常陸國記』はいう。

5 平将門公本拠豊田館跡 向石下／将門公苑

向石毛城の旧跡で、桓武天皇六代の後胤平将門公の館跡のひとつと伝えられる。將門記には鎌輪宿、石井宮所などが將門公の邸館として登場するが、そのひとつと考えられている。近年は宅地が進み、城館の遺構を確認することはできないが、御殿・御城前・城廻・判官屋敷・鍛冶ヶ入・美濃輪・北山・吹上等、本拠の痕跡を示す地名が残されている。

6 香取大明神 向石下

將門公の父・鎮守府將軍平良持公が下総開拓の拠点として下総國庁を開いたとき、総鎮守として祀ったのがこの香取神社という。向石下は本拠となる城館を築き、將門公が合戦に及ぶ際は、一族郎党がこの社前に集合し、必勝祈願の後、出撃したとも伝えられる。將門公陣没の後はこの祭祠も途絶えたが、豊田四郎が豊田郡を領するに当たり、再建された。

7 下総国亭(庁)跡 国生

昌泰年間(898~901)、北下総の開拓に乗り出した將門公の父・良持公がその拠点としたのが、ここに建てられた下総國亭であったという。このため国生(こっしょう)の地名が生まれたとも伝えられる。碑の建つ台地の北側には国生元屋敷遺跡があり、古墳時代前期の豪族居館や奈良時代の地方官衙の施設の存在が知られている。これらが將門公が活躍する平安期まで残ることはなかったとしても、この一帯が古代から続く拠点地域として機能していたことには間違いないかろう。

8 桑原大明神 国生

桑原大明神(桑原神社)は延喜式の神名帳に記載のある岡田郡の式内社で、伝承によれば下総守に任せられた桑原王によって宝亀三年(772)に創始されたという。鬼怒川を望む台地上・古明神の地にあったものが、延宝六年(1678)の在地住民の転居に伴い、現在地に移された。農耕の神として古来より信仰を集めてきた社であり、將門公やその父・良持公も尊崇したと言われている。

9 常羽御厩兵馬調練之馬場跡 馬場

将常總市崎房地区から八千代町尾崎地区にかけての一帯には、平安期の馬牧(牧場)があつたことが知られる。製鉄遺跡の存在も確認されており、一説には、將門公の一族は製鉄事業を推進し、官営牧場「大結馬牧」の経営主体であったとも考えられている。將門記には承平七年(937)に平良兼の軍がここを襲撃放火に及んだことが記されており、將門公に経済的な打撃を与える作戦であったことも推察される。

おすすめコース

総行程=47.33km

- 1 豊田城址 ↓ 2.48km
- 2 西福寺 ↓ 1.43km
- 3 豊田城 ※関東平野を一望 ↓ 4.25km
- 4 豊田四郎供養塔 ※個人住宅につき、ご配慮下さい ↓ 3.78km
- 5 平将門公本拠豊田館跡 ↓ 0.45km
- 6 香取大明神 ↓ 1.87km
- 7 下総国亭(庁)跡 ↓ 0.78km
- 8 桑原大明神 ↓ 3.35km
- 9 常羽御厩兵馬調練之馬場跡 ↓ 5.87km
- 10 平親王将門公一族墳墓之地 ↓ 0.38km
- 11 六所塚古墳 蔵持／神子埋古墳群 ↓ 0.75km
- 12 平将門公御赦免供養之碑 蔵持／公民館敷地 ↓ 7.55km
- 13 大生郷天満宮 ※三郎天神 ↓ 2.14km
- 14 安樂寺(元三大師) 大輪町 ↓ 5.06km
- 15 水海道河岸跡 ↓ 7.19km
- 16 日枝神社



10 平親王将門公一族墳墓之地

篠山／神子埋靈園

碑のある鬼怒川西岸の丘陵を「引手山」といい、この一帯を神子埋(御子理:みこのめ)と称する。かつては古墳時代後期に属する古墳5基が分布したというが、今は数基を数えるのみとなっている。将門公の父・良持公と兄・将弘公の墓が築かれていた地とも伝えられ、奮闘虚しく流れ矢に倒れた将門公を密かに父兄の墓の傍らに埋葬したといい、これが「御子埋」の地名の起りとも伝えられている。



11 六所塚古墳 蔵持／神子埋古墳群

全長70mを測る前方後円墳で、鬼怒川西岸の台地に分布する神子埋古墳群中最南端に位置する。六所塚の名は、將門公の父・良持公が北下総開拓の守護として六柱の神をここに勧進したことによる。一説には良持公の墳墓とともに、將門公を祀ったものとも言われているが、古墳の築造年代を考えれば後世の創作に過ぎない。あるいは、古墳を利用して父の墓としたと考えれば、首肯できなくもない。



12 平将門公御赦免供養之碑

蔵持／公民館敷地

將門公の供養碑と言い伝えられる4基の板碑のうち3基が、ここに残る。右碑が鎌倉幕府五代執権北条時頼公が建長五年(1253)に建てたと伝えられる將門公の赦免供養碑で、中央はその翌年、所縁の人々が大勧進供養を催し建立したものという。左碑は將門公の父・良持公を供養し、建長五年に建てられたものという。いずれも引手山(神子埋靈園)一帯より発見され、この地に移されたものである。



13 大生郷天満宮 大生郷町

大生郷天満宮は、祭神である菅原道真公の第三子・景行公が父の遺骨奉じて創建された。「將門記」が描く八幡神託による皇位授与の場面に道真公の靈が現れるなど、両者には因縁浅からぬものがある。社殿左前には「刀研石」と名付けられた二つの碑がある。常陸國羽島より移してこの地に天満宮が建立された経緯が刻まれていたが、今は風化し判読できない。刀研石の名の由来は、この碑で刀を研けば心願が成就するという伝承に拠るが、あるいは將門公に従い合戦に臨むこの地の豊田武士団が戦勝を期して己が太刀をこの碑に翳して出陣していったのであろうか。

大生郷天満宮の東方900mには、景行公の館跡と伝えられ、一説には將門公が勉学のため通ったという。

14 安樂寺(元三大師) 大輪町

安樂寺は、九州大宰府天満宮に別当安樂寺が設けられたのに倣い、大生郷天満宮の別当寺として菅原景行公により開山された。江戸時代には、三代將軍家光公より寺領二十余石の朱印状を賜り、天海大僧正が元三大師を勧請して江戸城の鬼門封じ・厄除けの祈願寺とした。以来、健康長寿災厄を成就するための参拝道として信仰を集めて今日に至り、正月三日の達磨護摩には多くの善男善女が訪れる。



15 『將門記』伝大井津・御津海道 水海道元町／水海道河岸跡

將門公は八幡大菩薩の御神託をもって「新皇」を名のる。『將門記』には「王城は下総國の寧南に建つべし。兼ねて儀橋を以て、号して京の山崎となし、相馬郡の大井津を以て、号して京の大津となさん」と記されている。王城の地は、以前からの根拠地である石井宮所、坂東市岩井周辺が適当であり、儀橋(儀津橋)と記されている。大井津はどこか?江戸時代後半期に書かれた紀行文『相馬日記』は、水海道こそがその地であると説く。人々は將門公の王城の津(港)に“御津”と呼び、諸国へ通する主要道路「海道」の集まる要衝であったため、併せて「御津海道」と呼び習わした。鬼怒の清流に親しむ里人は「御津」の文字をいつしか「水」に換え、水海道の名が生まれたと相馬日記の著者・高田与清は伝える。

16 日枝神社 菅生町

日枝神社は大山姫命を主祭神とし、承平元年(931)の創建と伝えられる。神社縁起には將門公が信仰厚い妙見菩薩の像を刻み奉納したため、妙見社と呼ばれたとも記されており、地域の人々はその由縁から、將門公の調伏を祈願し開山された成田山新勝寺(成田不動尊)には参拝しないという。現在の社殿は明治五年(1872)に再建されたもので、笠間稻荷神社本殿(国指定重要文化財)なども手がけた当代表の名工・後藤縫之介(坂東市猫実出身)の手による彫刻群で飾られる。ちなみに、後藤縫之介は成田山新勝寺の旧本堂(現・御堂)も手がけているので、將門公の恩讐はこの時点で解消されたと見るべきか。

